



◀練習の成果を発揮して、カルタを取る小学生ら

「はい！」と威勢の良い声が響く白熱した試合

第19回 多久市論語カルタ大会

多久市論語カルタ大会（多久市教育委員会主催）が11月24日、西溪中学校体育館で行われ、幼稚園・保育園児から一般まで、市内外から191人が参加しました。中川正博教育長は「論語は時代を越えて私たちの心に響く大切な教えが詰まっています。しっかり練習の成果を発揮してください」と主催者を代表して、あいさつをしました。

続いて横尾市長が「論語の言葉一つ一つが教えとなります」とあいさつ。試合開始を告げる太鼓の合図とともに上の句が読み上げられると会場から「はい！」という威勢の良い声で素早くカルタを取る姿が見られ、熱戦が繰り広げられました。

各部門の優勝者は次のとおりです。（敬称略）

- 幼稚園・保育園＝原 久玲愛（こぼと保育園）
- 1学年＝水口 瑠晟（中央）
- 2学年＝野崎 颯斗（西溪）
- 3学年＝溝口 滉歩（中央）
- 4年生＝永井 佑希（中央）
- 5年生＝中尾 圭太（中央）
- 6年生＝松尾 晃希（西溪）
- 中学1年生＝諸石 莉奈（致遠館）
- 中学2年生＝大塚 樹（西溪）
- 中学3年生・一般＝副島 遼（西溪）

いつもお仕事ありがとうございます

勤労感謝の日を前に市内保育園児が花束贈呈

勤労感謝の日を前に11月22日、市内11の保育園児代表のみなさんが市役所を訪れ、日頃の感謝を込めて横尾市長に花束を贈呈しました。

花束の贈呈は多久市保育協議会が毎年続けているもので、身近で働いている人や両親に感謝する気持ちが、子どもたちに芽生えてほしいとの願いが込められています。贈呈式では、「いつもお仕事ありがとうございます」と園児たちの元気なあいさつを受けて、代表の園児から横尾市長に花束が贈呈されました。贈呈を受けた横尾市長は、「ありがとうございます。市長さんもお仕事頑張りますので、先生やお母さん、お父さんの話をきいて、お勉強やお遊戯など頑張ってください」と笑顔で園児たちに言葉をかけ、御礼に折り紙セットを手渡しました。

▶代表の園児から花束を受け取る横尾市長



▲保育園児代表らと記念撮影する横尾市長

心地よい音楽で紅葉を満喫しました

紅葉の美しさと音楽のコラボレーションを楽しんでもらおうと、西溪公園内「寒鶯亭」で『香音天』コンサートを開催しました。これは、西溪公園の指定管理者、西九州建設株式会社の造園・外構・エクステリア事業部「ガーデンベース」が西溪公園を目と耳で楽しんでもらう、初の取り組み。会場には約60人が集まり、和と洋とエスニックを加味した音楽で癒しのひと時を過ごしました。また、武雄市山内町の「ヤマセワ」がジャンベと呼ばれる西アフリカの太鼓による音楽で会場を盛り上げました。



11/19

統計グラフ佐賀県コンクールで特選！

福永嘉恩さん（中央校5年）が統計グラフ佐賀県コンクール、パソコン統計グラフの部で、佐賀県で特選、全国で佳作に選ばれ、県庁で表彰式が行われました。

作品は「佐賀って安心な県と言えるの？」との表題で、佐賀と大阪の少年犯罪や交通事故について比較し、グラフを用いて、わかりやすく制作されていました。福永さんは、この結果を見て「佐賀と大阪でも、同じような事件・事故が起きており、発生が多いことに驚きました。もっと安全な町にするために、みんなで協力しなければならぬと強く思う」とまとめられていました。



11/19